

平成 25 年度第 2 回サイバー・キャンパス・コンソーシアム土木工学グループ運営委員会議事概要

- I. 日時 : 平成 26 年 1 月 15 日 (水)、10:00~12:00
- II. 場所 : 私立大学情報教育協会事務局 会議室
- III. 出席者 : 北詰委員、武田委員、栗原委員
(事務局) 井端事務局長、森下主幹、野本職員

IV. 議事内容

1. 教育改善モデルの提言に対するサイバーFD 研究員の意見について

アンケートを踏まえた教育改善モデルの見直しについて、サイバーFD 研究員からのアンケートを受けて、前回からの修正箇所を確認した。その中で、新たに以下の点を修正した。

- ・ 到達目標 2 の到達度④において、説明が重複しているため、技術者倫理を持ち、法の遵守は基より、」の部分の前文を削除し、「法の遵守はもとより、」に変更した。
- ・ 修正箇所を変更したものを反映して Web に公開することとした。

2. サイバーFD 研究員の意見に対する回答について

サイバーFD 研究員の意見への回答の文章が提示され、その内容について検討をおこなった。

- ・ 学士力の考察については、説明を加筆するとともに、土木工学の参照基準が完成されたのちは、参考にさせていただき、より良い学士力が構築できるように支援をさせていただくことを確認した。
- ・ 教育改善モデル 1 : 最後の部分に、検討すべき課題であることを追記することにした。
- ・ 教育改善モデル 2 : 大学と企業が一体となった新しい教育を展開することで教員の学識や企業の現場技術の融合が図られるであろう旨を加筆することにした。

3. 今後の研究の進め方について

来年度の取り組みについて以下のような意見が出された。

- ・ アクティブ・ラーニングによる授業の実施は、今後、補助金獲得のための重要な項目の一つとなり、各大学で実施してもらうことが大切となる。また、企業と連携した授業の実施も重要である。
- ・ 各大学の教員が私立大学等改革総合支援事業配点区分表を達成することの意識を持つためにどうしたら良いのか、大学教育の意識改革にならないか。
- ・ シラバス調整に関しては、JABEE 認定校では進んでいる。ただし、他大学との情報交換はほとんど行われていない。
- ・ 土木計画学・マネジメント科目・環境工学では、教える内容が広がっている。他大学との情報交換は有効である。授業内容を統合することが目的ではないことを理解して議論する必要がある。
- ・ 今後実施できることは、①シラバス調整 (コンソーシアム)、②現場見学会の意見があがった。
- ・ 主体的学習の手段としては見学会は有効ではないか。
- ・ 現場見学会は、事前研究→現場見学→事後議論することで現場と座学との関係を通じて学習効果が高まるのか。例えば、見学会に行った学生を集めて発表・意見交換することで、理解度やカリキュラムに合致しているか検証できないか。
- ・ 委員会として、以上議論を受け、今後のアクションプランを作成し (今後 2 回の委員会)、3 回目では対話型の集会・会合 (H26~27 で実施) を行うことにした。

4. 次回委員会

- ・ 2014 年 4 月 16 日 (水)、10:00~12:00 で開催することにした。